



朝の下田港

文・絵：鈴木まもる

下田まち遺産 ギャラリー

伊豆七島沖など、約10日間の漁から帰ったキンメ船。

獲れた順、大きさ別に、すごいスピードで選別されていきます。

ここからトラックに乗り、豊洲から都会の皆さんの食卓へ。最近ではアメリカでも大人気だそうで、アメリカに行くキンメさんもいるそうです。この冬の早朝、皆さんテキパキ働く中、一人半そでのお兄ちゃんが、1匹も見逃さないぞと、鋭い眼光で働く姿に、下田の未来は明るいぞと感じました。何枚かスケッチをして、港の食堂で朝食のアジのたたき丼を食べましたが、これがまたうまいんだあ…、下田は良い町です。

編集後記

下田の人たちが昔から大切にしてきたもの、そしてこれから新たに大切にしていきたいもの、が下田まち遺産です。それは制度上、「自然」「人の暮らし」「歴史」「文化」に分類されています。

今回、昨年の秋口から各小学校を訪問させていただき、出前授業、高根山登山、発表会の見学などを通じて子ども達の生の声を深く知ることができました。出前授業の前に子ども達から質問をいただいたとき、即座に答えられない質問があり、図書館に行ったり、地元の方々に聞いたりして調べていくうちに自分自身も成長した気がしました。高根山登山では、自然と歴史ある山道とともに登っていくうちに実体験でしか得られないものがあると分かりました。発表会で1年生から6年生までの発表を聞いたとき、農業や漁業などの地域ごとの特色、子ども達が総合学習を通じて体験してきたことを教えていただきました。

あっという間に数か月が過ぎ、第10回下田まち遺産子どもシンポジウムを終えて再度学校を訪問したとき、笑顔で迎えてくれる子ども達がいました。

子ども達の笑顔がずっと続くよう、下田まち遺産を未来に育むように今後は様々な形式で下田まち遺産を伝えていきます。

「自然」「人の暮らし」「歴史」「文化」これらのどれにも分類できない下田まち遺産があります。それは子ども達です。



下田小学校で出前授業をする編集者

下田市建設課 下田まち遺産担当 西川 力

『下田まち遺産手帖』は下田市景観計画・下田市景観まちづくり条例に基づき作成されています。

下田まち遺産手帖 第16号 2019年3月30日発行

発行元：下田市建設課 協力：下田市景観まちづくり市民会議

問合せ：静岡県下田市東本郷一丁目5番18号 TEL.0558-22-2219 FAX.0558-27-1007 mail kensetsu@city.shimoda.lg.jp

本誌のデータは2019年3月30日現在の情報です。

下田まち遺産 公式ホームページ → <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp>



下田まち遺産の情報をご覧になりたい方は、下田市役所公式ホームページ内にある下田まち遺産ページにアクセスしてください。写真とともに詳しい説明が掲載されています。